

産業
情報

いわて

Vol. 98

2010.MAY
平成22年5月10日

月刊

消費者目線の
企画・商品構成で、
ビジネスを展開！

2 岩手の底デカラ 支援企業紹介

特集

株式会社ホップス

4 県内主要発注企業外注ニーズ調査結果

お知らせ

6 「青森・秋田・岩手 3県合同商談会」
の開催について (ご案内)

6 新職員紹介

7 コーディネーター・アドバイザー紹介



支援企業紹介

岩手県盛岡市

株式会社ホップス



リアルタイムで映像をストリーミング放送するテスト。ミーティング中は若いスタッフからも意見が飛び交う

Webの企画提案から、制作・コンサルティングまで、トータルでマネジメントする盛岡市本宮の株式会社ホップス。同社の最大の強みであり最大の特徴は、企画開発をする立場でいながら、消費者の視点を忘れないというビジネス展開にあった。

各支援機関との連携が「いま」に大きく影響している

株式会社ホップスは、1996年11月の創業。「特に独立とか開業というのではなく、若い頃から『何かをやりたい』と漠然と考えていました」と工藤社長は振り返る。

設立当初は独立以前に携わってきたDTPや、プログラム開発の技術を生かした事業を一人でこなした。しかし一人でできることには限界があると感じ、スタッフを増員し、自らは社長業に徹したという。県やいわて産業振興センターへも積極的に出向き、様々なアドバイスをもらったり、有効な制度の活用についてもレクチャーを受けた。特にいわて産業振興センターとは起業家大学での結びつきも深く、今でもその関係は継続している。「これまでは私が支援してもらった側だったんですけど、新しい起業家たちに講演をするなど、今では支援に回る機会もいただいています」と工藤社長。これも設立当初に起業家向けの支援制度を活用し、アドバイザーとも連携を

とってきた影響が大きいと語る。

消費者の目線に立つことがビジネスでは鍵になる

工藤社長はやがて、Webの将来性を考えてコンテンツ作成業務へ力を注いだ。ネット通販の弱点に気がついたのもその頃。2005年3月には東北発信の総合ショッピングモール「まがりや.net（まがりやドットネット）」を開設。これまでのネット通販の弱点を解消するために、様々なアイデアを盛り込んでいく。消費者目線の魅力的な商品構成に加え、生産者の顔が見える安全で安心なオンラインショップ。それがまがりや.netの最大の強みとなった。

このショップは予想以上に好評で、他県からもモデルにしたいという声が集まった。工藤社長はこのノウハウをパッケージにして提供すれば、出店者同士がまがりや.netの枠を越えて、どんどん繋がっていくのではないかと考えた。

Power of business human in Iwate

コンセプト、ターゲットを明確にすることで
芯のぶれないビジネス展開が可能になる

今月の表紙

明るく清潔感のあるオフィスの様子。社長の意見を押し付けるのではなく、スタッフの何気ない会話や疑問にも仕事のヒントが隠されているというだけに、社内には和気あいあいとした雰囲気漂う。手前では新プロジェクトのブランド画像をチェックしている。



思い立ったら即実行の工藤社長は改良に改良を重ね、パッケージ商品として提供することに成功した。これが昨年からスタートした「モリオカート」である。モリオカートでは一般の顧客がホップスに代わり、自社で管理運営にあたる。そのためネットに弱い人でも、楽に管理できることが必須条件となった。完成まで社内で何度もダメ出しをして、管理のしやすさを追求したという。

これまで構築したノウハウを活かした新ブランド事業

そんな工藤社長が新しく立ち上げた事業がある。それが「ロリータ・インキュベーション・プロジェクト（以下LIP）」だ。今やネット通販で常識となっている「安全・安心」に、新しく「かわいい」をキーワードとして追加した販売戦略がLIPだ。

沿岸の会社で製造する、質の良い衣料品の販路拡大を相談されていた工藤社長は、持ち前の決断力と行動力にホップスの商品販売ノウハウをプラスし、通常のネット販売とは一線を画したプロジェクトを企画したのだ。

「ずばりブランド化です。もともとモノが良い商品ですから、より魅力的な商品に育てる戦略を選びました。だから中央メディアと積極的に手を組みました」



株式会社ホップス

【代表取締役】 工藤昌代
【所在地】 盛岡市本宮1-16-17-1F
【電話】 019-656-4040
【URL】 <http://www.hops.co.jp>

代表取締役 工藤 昌代

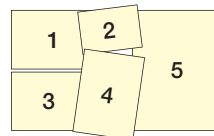
盛岡市生まれ。盛岡市内で営業、DTP、プログラム開発の仕事に携わり、1996年に有限会社ホップスを設立。2004年に株式会社へ組織変更。2006年のいわてビジネスグランプリで、まがりや.netが最高賞を受賞。同社は今年より住宅エコポイント提供事業者に登録。

その手始めとして今年2月「ミエレット・トトゥ」というブランドを立ち上げ、すでに中央のファッション誌でもモデルが着用し掲載されている。盛岡市内で行われたブランド発表会には、東京からモデルやメイキャップアーティストが訪れ、発表会に花を添えた。

「商品にはそれぞれ、特性に合った販売手法が必要。特にアパレル商品はターゲットを明確にすることで、付加価値のついた訴求がピンポイントでできるんです。そういったノウハウもまがりや.netを通じて蓄積しました」と工藤社長は自信満々。

3月には住宅エコポイント提供事業者としても登録した同社。決断力と行動力を武器に、形式にとらわれない斬新な発想の工藤社長率いる株式会社ホップスは、岩手の底デカラとして今後も注目されそうだ。

< P.3 写真 >



1. 和気あいあいとした雰囲気の中でも、作業に向かう姿勢はみな真剣そのもの
2. 管理のしやすさを追求した「モリオカート」の管理画面
3. 今年2月に盛岡市内で行われたブランド発表会。県内外から多くのマスコミが取材に来た
4. ミエレット・トトゥの宣材写真。撮影は東京で行われたが、県内での撮影も企画している
5. スタッフ同士相談し合って、クオリティの高いWebページの制作を進めている。



特集

生産概況で「適正」とする 見通しもOA機

当センターでは県内の主要発注先を対象に「外注ニーズ調査」を実施しました。
受注活動の参考としていただくため、以下に調査結果の概要をお知らせします。

県内発注企業の生産状況

① 現況

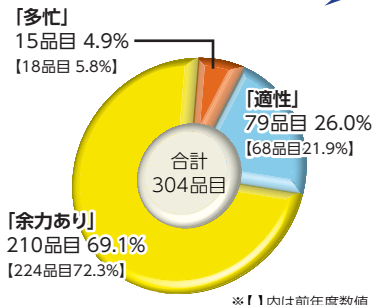


図-1 生産品目でみる現況

回答企業数110社の生産概況を生産品目総数304品目についてみると、「余力あり」が210品目69.1%で最も多くなっているが、前年度と比較すると14品目3.2ポイント減少している。(図-1)

製造分野別にみると、「多忙」は半導体が15.8%（前年度0.0%）で最も高く、次いで通信機器及びOA機器が共に9.1%（前年度3.3%及び0.0%）となっている。「適正」はOA機器が40.9%（前年度4.3%）で最も高く、次いで半導体が36.8%（前年度0.0%）となっている。「余力あり」は電気音響が93.5%（前年度69.0%）で最も高く、次いで住宅関連が83.3%（前年度83.3%）となっている。(図-2)

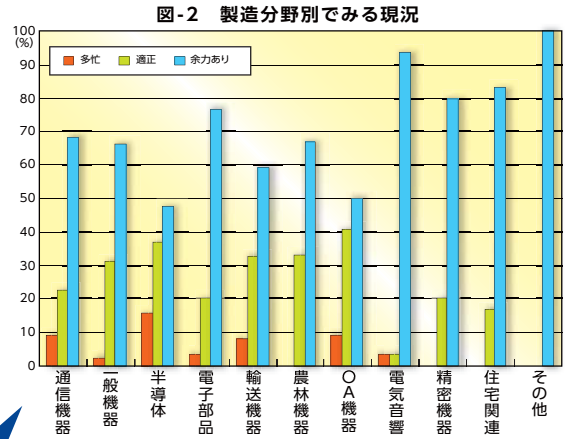


図-2 製造分野別でみる現況

② 見通し

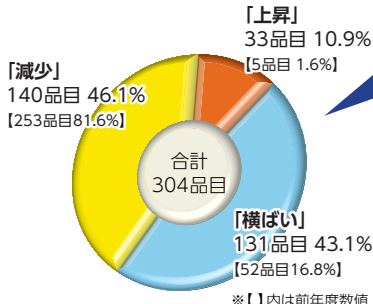


図-3 生産品目でみる見通し

今後の見通しを生産品目総数304品目についてみると、最も多いのは「減少」で140品目46.1%、次いで「横ばい」が131品目43.1%である。「減少」は前年度より113品目35.5ポイント減少している。(図-3)

製造分野別にみると、「上昇」はOA機器が27.3%（前年度0.0%）で最も高く、次いで半導体が21.1%（前年度0.0%）となっている。「横ばい」は農林機器が80.0%（前年度33.3%）で最も高く、次いでOA機器が54.5%（前年度13.0%）となっている。「減少」は住宅関連が75.0%（前年度83.3%）で最も高く、次いで通信機器が68.2%（前年度76.7%）となっている。(図-4)

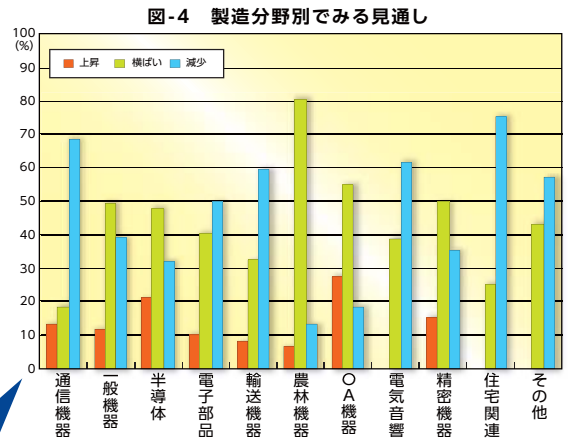


図-4 製造分野別でみる見通し

県内発注企業の外注状況

① 外注企業数

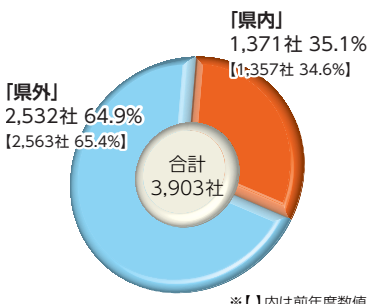


図-5 県内及び県外別の外注企業数

回答企業110社が外注している企業数は3,903社（延べ数、以下同）あり、前年度と比較して「県外」の割合がやや増加している。(図-5)

製造分野別にみると、一般機器が824社で最も多く、次いで精密機器が664社、輸送機器が450社となっている。
さらに県内及び県外別で県内への外注割合が高い製造分野は、住宅関連の36社52.9%、半導体の173社46.8%、電気音響の163社46.7%となっている。
逆に県外への外注割合が高い製造分野は、精密機器の544社81.9%、OA機器の280社77.3%、通信機器の185社70.6%となっている。(図-6)

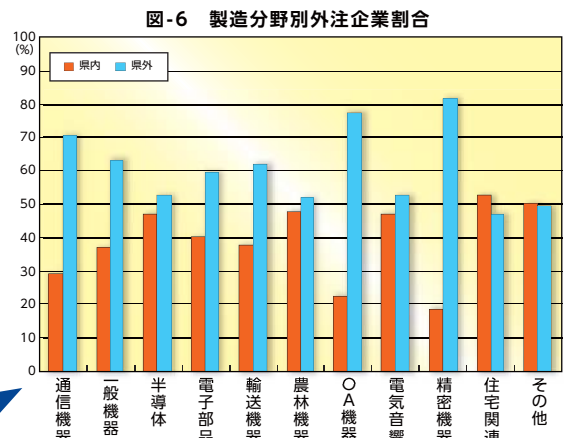


図-6 製造分野別外注企業割合

Subcontract needs investigation result

品目がやや増加、器・半導体などの分野で生産増か。

目的 県内主要発注企業の外注状況、下請企業に対する技術・加工等のニーズを把握し、下請取引紹介・あっせんの円滑化に資すること。
対象企業 岩手県内所在の発注を主とする登録企業110社
調査方法 訪問によるヒアリング調査
調査時点 平成22年2月
コメント 製造分野別では、「その他」についてはコメント(解説)していない。

② 外注金額

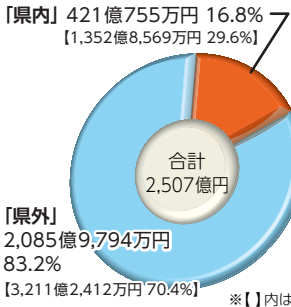
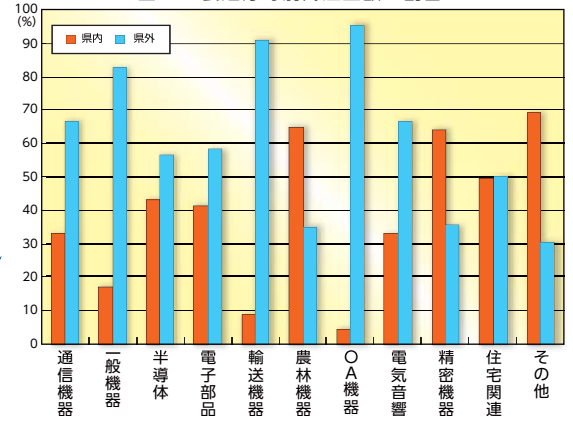


図-7 県内及び県外別の外注金額

回答企業110社の1年間での外注総額は、2,507億549万円(前年度は112社4,564億981万円)となっている。県内への外注は12.8ポイント減少している。(図-7)

製造分野別にみると、県内への外注は農林機器が65.0%で最も高く、次いで精密機器が64.4%、住宅関連が49.9%となっている。一方、県外への外注についてみると、OA機器が95.3%で最も高く、次いで輸送機器が91.0%、一般機器が82.9%となっている。(図-8)

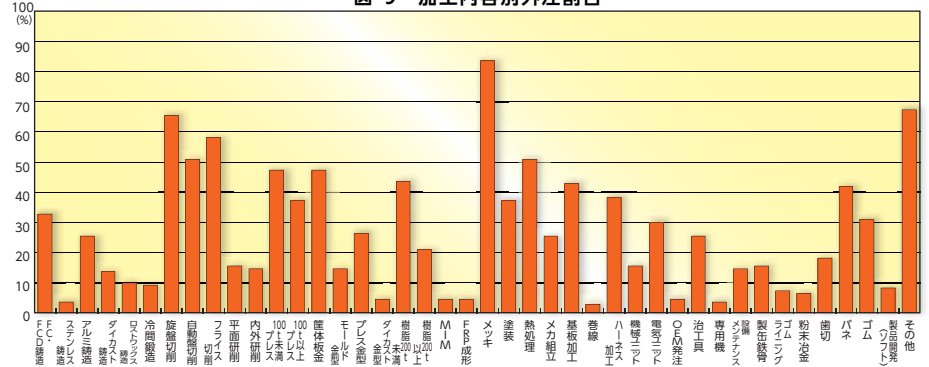
図-8 製造分野別外注金額の割合



外注している加工内容

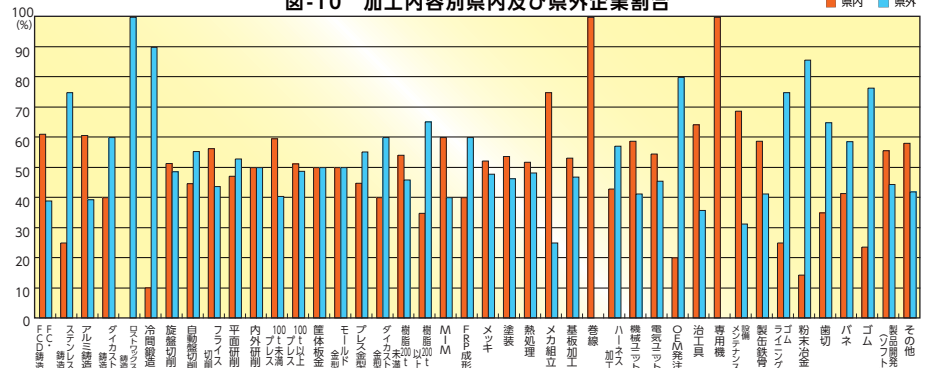
回答企業110社が外注している加工内容を見ると、「メッキ」が92社83.6%と最も高く、次いで「旋盤切削」の72社65.5%、「フライス切削」の64社58.2%となっている。(図-9)

図-9 加工内容別外注割合



県内及び県外別にみると、県内へは「専用機」及び「巻線」が100.0%で最も高く、次いで「メカ組立」が75.0%、「設備メンテナンス」が68.8%となっている。県外へは「ロストワックス鋳造」が100.0%で最も高く、次いで「冷間鍛造」が90.0%、「粉末冶金」が85.7%となっている。(図-10)

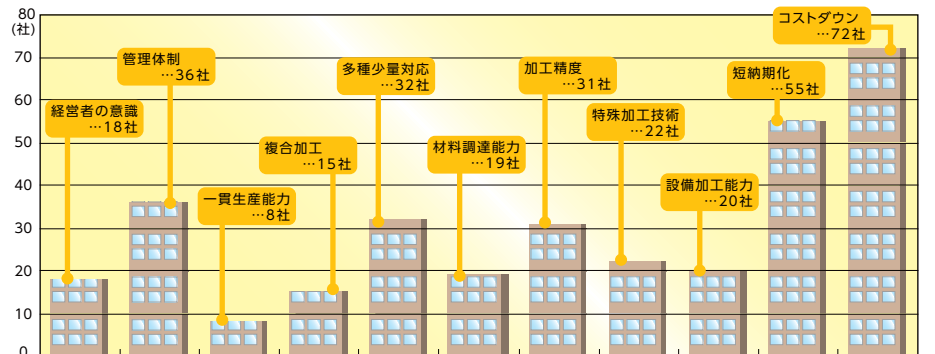
図-10 加工内容別県内及び県外企業割合



県内発注企業からの県内受注企業に求められる課題

県内の発注企業が、現在、県外の企業に外注している案件について、県内の企業に切替えるとした場合に求められる課題(複数回答)は、「コストダウンへの対応力」が72社(65.5%)で最も多く、以下「短納期化への対応力」「管理体制のレベル」「多種少量生産への対応力」「加工精度」の順となっている。(図-11)

図-11 外注企業(県内受注企業)に求められる課題(複数回答)



締切間近です!

「青森・秋田・岩手 3 県合同商談会」 の開催について (ご案内)

(財) いわて産業振興センターでは、北東北3県の(財) 21 あおもり産業総合支援センター及び(財) あきた企業活性化センターとの共催で標記商談会を開催いたします。

この商談会は、関東地区の発注企業の皆様と、青森・秋田・岩手県内のそれぞれに特色を持った受注企業の方々が一堂に会して、個別商談や情報交換等をしていただくため、昨年に引き続き開催するものです。

この機会に是非ご参加いただき、北東北3県における新規取引先の開拓や、新たなパートナーづくりにご活用くださいますようお願い申し上げます。

1. 開催日 平成22年 **7月6日(火)**
2. 開催場所 **東京流通センターAホール**
(東京都大田区平和島6-1-1)
3. 実施内容 受・発注参加企業における面談形式の商談
4. 参加範囲 関東地区を中心とした発注企業(メーカー・商社) 60社
青森・秋田・岩手の各県財団に登録している受注企業 180社
5. 申込締切日 平成22年 **5月20日(木)**

問い合わせ先

育成支援グループ
電話 019-631-3822
fax 019-631-3830

新職員紹介

4月から新たにセンターに勤務している職員です。
皆様のごところに訪問した際にはよろしく申し上げます。

黒澤 芳明 (事務局長)

県からの派遣で2度目の勤務となります(H8～H11: 岩手県高度技術振興協会)。これまでの経験を生かして、皆様のお役に立ちたいと思いますので、お気軽にお立ち寄りください。



東 洋一 (産業支援グループ)

本年度から、当センターの職員として採用された東と申します。自動車関連産業の支援を担当させていただくことになりましたので、皆様のごところにお邪魔した際は、是非とも可愛がってやって下さい。お願いします。



中嶋 朋之 (産業支援グループ)

12年間の金融職務経験を活かし、地域産業発展の為に取組んでいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



成田 紀子 (産業支援グループ)

岩手の産業振興のために精一杯頑張らせていただきます。よろしくお願いいたします。



岸 敦 (人材・技術開発支援グループ)

県からの派遣で技術開発支援を担当します。よろしくお願いいたします。

コーディネーター・アドバイザー紹介

4月からセンターの事業に協力いただいているコーディネーター、アドバイザーの方々です。
皆様のご訪問の際にはよろしくお願いいたします。



参与
飯倉善明
債権管理全般



コーディネーター
佐々木貢
窓口相談（経営全般）



コーディネーター
佐々木嶠
窓口相談（マーケティング）



コーディネーター
藤田正実
窓口相談（経営全般）



コーディネーター
佐々木一豊
窓口相談・受発注に
関する相談



コーディネーター
石川篤
県北・沿岸振興



アドバイザー
佐野茂
受発注に関する相談



アドバイザー
菊池元昭
受発注に関する相談



コーディネーター
手代木勝
工程改善研修会
（自動車産業）



コーディネーター
齋巖
工程改善研修会
（自動車産業）



コーディネーター
山本忠
産学官連携の研究開発を
基盤とする事業化支援



科学技術コーディネーター
阿部四朗
産学官連携の研究開発を
基盤とする事業化支援



医療機器事業化マネージャー
大森健一
医療機器事業化支援



推進員
畑中宗紀
農商工連携ファンド



アシスタントコーディネーター
上野山英克
産学官連携の推進
（岩手県立大学勤務）



アシスタントコーディネーター
熊谷和彦
産学官連携の推進
（産業振興センター勤務）



アシスタントコーディネーター
佐々木建二
産学官連携の推進
（岩手医科大学勤務）



アシスタントコーディネーター
高橋修三
産学官連携の推進
（岩手大学勤務）

岩手県釜石市

株式会社エイワ

第14回 機械要素技術展に出展します！

平成22年6月23～25日の3日間、東京都のビッグサイトで機械要素と機械材料・加工技術などの主要企業が一堂に集結する「機械要素技術展」が開催され、当社「株式会社エイワ」も、いわて産業振興センターと岩手県ブースに共同出展します。

当社の強みである文部科学省の都市エリア事業で東北大学の千葉晶彦教授と研究開発した高延性、高強度かつ、耐摩耗性に優れた「NiレスCo-Cr-Mo合金」の素材製造技術等をご紹介しますので、皆様、ぜひ、ご来場ください。



会社情報

代表者名	佐々木 政治	従業員数	50名
事業内容	金属事業（生体材料、その他特殊素材）部門、FRP成形部門、建築工事部門	住 所	〒026-0055 釜石市甲子町10-405-45
		T E L	0193-55-4510
設 立	1978年4月	F A X	0193-55-4510
資 本 金	3,000万円	U R L	http://www.rnac.ne.jp/~eiwa/

岩手県花巻市

和同産業株式会社

「小型 UF 膜含油廃水処理ユニット」を開発致しました

弊社はダイカスト工場様向けに廃水処理装置「UF膜含油廃水処理ユニット」を販売し、ご使用のユーザー様からは大変ご好評を頂いております。今回はこの装置を小型化した装置を提案いたします。少量廃水でお困りの事業主様、廃水処理設備を導入したいが設置面積で思いとどまっていたお客様に喜んでいただける装置となりました。



生物処理式 廃水処理装置

「生物処理式廃水処理装置」では、塗装廃水（水溶性・油性）や食品工場廃液などにも対応いたします。省スペース設計、簡単な運転操作で使いやすい装置となりました。



小型UF膜含油廃水処理ユニット

「UF膜含油廃水処理ユニット」を初め、「生物処理式 廃水処理装置」など種々の廃水処理装置を提案いたします。

会社情報

代表者名	取締役社長 三國慶歌	従業員数	205名
事業内容	農業機械・除雪機械・産業機械の開発・設計・製造および販売	住 所	〒025-0035 花巻市実相寺410番地
		T E L	0198-24-3221
設 立	1941年5月	F A X	0198-41-1221
資 本 金	4,900万円	U R L	http://wadosng.jp/

岩手県紫波郡矢巾町

有限会社 青匠回路設計

機械要素技術展に出展致します！

<第14回機械要素技術展に出展>

会 期：2010年 6月23日（水）～6月25日（金）

会 場：東京ビッグサイト（財）いわて産業振興センターブース内



基板導入により
作業の効率・品質アップ
を考えてみませんか？

詳しくは弊社ホームページをご覧の上ご来場をお待ち致します。

会社情報

代表者名	細川 幸雄	従業員数	7名
事業内容	プリント配線板パターン設計	住 所	〒028-3606 紫波郡矢巾町大字土橋第6地割54番地
		T E L	019-697-8608
設 立	1991年10月1日	F A X	019-698-1063
資 本 金	300万円	U R L	http://www.sei-pwb.com/

岩手県環境生活部からのお知らせ

平成22年度

岩手県産業・地域ゼロエミッション 推進事業の追加公募

県では、環境に配慮した事業活動の促進及び県内における産業廃棄物等の3R（リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生 利用））の推進を目的として、県内の事業者等が産業廃棄物等の3Rの推進に資する取組みを行う場合の経費を補助する制度である、「岩手県 産業・地域ゼロエミッション推進事業」の平成22年度実施事業の追加公募を下記期間において実施することとしました。

公募期間 平成22年 4月22日（木）から 6月11日（金）まで

事業区分

- ・企業内ゼロエミッション推進事業
- ・地域・企業間ゼロエミッション推進事業
- ・廃棄物発生抑制等技術研究開発推進事業
- ・廃棄物利用製品開発推進事業
- ・廃棄物利用製品製造推進事業
- ・ゼロエミッション普及促進事業
- ・環境産業育成支援事業

※詳しくは、岩手県のホームページ（<http://www.pref.iwate.jp/>）から「22年度ゼロエミッション追加公募」で検索してください。

お問い合わせ先

岩手県環境生活部 資源循環推進課
TEL:019-629-5380 FAX:019-629-5369

(財)いわて産業振興センター広報誌
産業情報いわて

平成22年5月10日（毎月10日発行）

発 行／(財)いわて産業振興センター
〒020-0852 盛岡市飯岡新田3-35-2（岩手県先端科学技術研究センター2階）
TEL.019-631-3826 FAX.019-631-3830
E-mail: joho@joho-iwate.or.jp URL: <http://www.joho-iwate.or.jp>
編集印刷／株式会社吉田印刷

